

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【公表番号】特表 2010-519853 (P2010-519853A)
 【公表日】平成 22 年 6 月 3 日 (2010.6.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-022
 【出願番号】特願 2009-550953 (P2009-550953)
 【国際特許分類】

H 0 4 M 3/533 (2006.01)

H 0 4 M 11/00 (2006.01)

H 0 4 L 12/58 (2006.01)

【F I】

H 0 4 M 3/533

H 0 4 M 11/00 3 0 2

H 0 4 L 12/58 1 0 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 12 月 22 日 (2010.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワーク化された通信システム内で実行される場合に前記システムに統合メッセージングの方法を実行させる命令を記憶するコンピュータ可読媒体であって、前記方法は、発呼者がユーザに送信する第 1 のタイプのメッセージを含む音声データを第 1 のネットワークを介して受信することと、

前記音声データを第 1 の形式に変換することと、

前記音声データ内の所定の単語を検索することを含む、前記音声データをフィルタリングすることと、

前記音声データを第 2 の形式に変換することと、

前記第 2 の形式の前記変換済み音声データを含む第 2 のタイプのメッセージを生成することと、

前記第 2 のタイプの前記メッセージを第 2 のネットワークを介して前記ユーザに送信することと

を含む、コンピュータ可読媒体。

【請求項 2】

前記方法が、

前記フィルタリングの結果に基づいて優先フラグを生成することと、

前記優先フラグを前記第 2 のタイプの前記メッセージ中に含めることと

をさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 3】

受信することが、前に設定されたユーザ基本設定に基づいて前記音声データをフィルタすべきかどうかを判定することを含む、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 4】

前記所定の単語が単語リスト内に含まれる、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 5】

前記単語リストが所定の単語のセットおよび前記ユーザが追加した単語を含む、請求項 4 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 6】

フィルタリングすることが、ユーザ・リスト、グローバル・アドレス・リスト、公開フォルダ、および個人用連絡先フォルダを含む企業内の複数のソースからの前記ユーザに関するデータにアクセスすることをさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 7】

前記方法が、前に設定されたユーザ基本設定に基づいて、前記第 2 のタイプの前記メッセージを前記ユーザ以外の 1 人または複数人の受信者に送信することをさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 8】

前記第 1 のタイプの前記メッセージがボイスメール・メッセージであり、前記第 2 のタイプの前記メッセージが E メール・メッセージである、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 9】

前記第 2 のタイプの前記メッセージが前記第 1 の形式の前記音声データをさらに含む、請求項 1 に記載のコンピュータ可読媒体。

【請求項 10】

前記データを変換することが、前記所定の単語に基づいて概略転記を生成することを含み、前記概略転記は、前記第 1 のタイプの前記メッセージに対する適切な応答を前記ユーザが決める手助けをする、請求項 9 に記載のコンピュータ可読媒体。